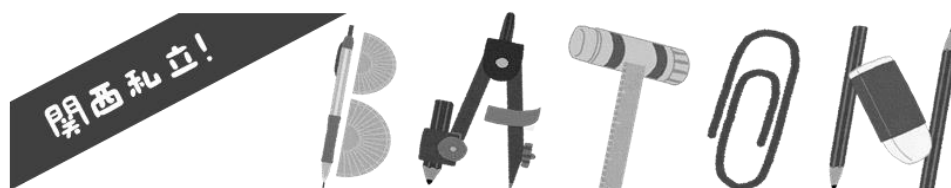


進路だより

発行：平成28年1月8日

1 BATON ～卒業生による進路だより～

今回の BATON は私立大学特集です。大学入試センター試験を間近に控え、最後の追い込みに加え、併願先となる私立大学も検討しているのではないのでしょうか？先輩のみなさんからのメッセージをぜひ参考にしてください。



～卒業生による進路だより～ NO. 6

こんにちは、大変お待たせ致しました、BATON 関関同立号です。

受験生はもちろん、進学先として私立大学を考える人は、積極的に調べてみましょう。6年生になるとゆっくりと見学をする時間が持てない場合が多いので(経験者語る)、早めに情報を集めることをオススメします。今回は、数名の関西圏の私立大学に通う卒業生に、大学生活について聞きました。ぜひ参考にしてくださいね。

- ① あなたの通う大学のいいところ・特色・その他なんでも(大学名・学部学科名)
- ② 通っている学部・学科で学べること、できること(進路イメージなども含む)
- ③ 大学に入ってから今までの感想(サークルやバイト、また、一人暮らしをしている人は一人暮らしについても書いていただきたいです)

【関西学院大学社会学部】植田 真由

- ① 私が、開学の良いと思うところは奨学金制度が大変充実しているところです。私の周りの友達のほとんどが奨学金を利用して、大学に通っています。そして、留学を希望する人たちのために多くの奨学金制度があります。その点は大変良いところではないかなと思います。

また、開学では各学部にとつずつチャペルがあります。1限と2限の間にチャペルアワーという時間があり、キレイなチャペルでお祈りをしたり、各学部の教授の話聞くことができます。講義では聞けないような体験談や、キリスト教への理解や興味が深まります。今まで、宗教は縁遠いものと思っていましたが、身近に感じる事ができて、チャペルアワーに出る事をお勧めします！

- ② 社会学部では、社会の様々な現象について、色んな視点からの講義が聞けます。自分の興味、関心のある事柄だけでなく、幅広く学ぶ事ができます。私も初めは社会共生系に興味がありましたが、大学に入ってから社会心理系にも興味が出てきました。また、メディア系にも関心を持つようになりました。社会学部はいい意味で、将来何をしたいかというのを悩む事ができる学部だと思います！
- ③ 私は体育会のボート部に入部しました。まさか、部活に入るとは全く想像もしていませんでしたが、今は非常に充実した日々を過ごしています。サークルとは違って、休みは少なく、遊びに行く時間もあ

まりありませんが、それでも一生の付き合いになるであろう仲間と共に素晴らしい日々を過ごしています。授業ではサークルに入ってる人もいれば、部活をしてる人もいて、色々なタイプの人々に出会えるのですごく新鮮で楽しいです！

私は、神戸屋レストランでアルバイトをしています。アルバイトでは覚える事も多くて大変ですが、マナーを身につける事が出来たり、学校とは別の世界が作れるので楽しいです。何よりも、お金を稼ぐ事がどれだけ大変かという事が身に染みて分かります。そういう意味でもアルバイトは必ずした方がいいと思います！

大学では全てが自分の責任になります。大学に入って何をするか、4年後どのような姿になるかは自分が大学で何をしてきたかの結果だと思っています。自分から行動を起こさなければ、何も生まれず、ただ周りに流されるだけの4年間になってしまうと思うので、たくさん考えて悩むのがいいと思います！

【関西大学化学生命工学部化学物質工学科】 徳満陽香

- ① 関西大学には複数のキャンパスがありますが、私が通っている千里山キャンパスが一番、学部も人も多いです。

関西大学全体で3万人程の学生が在籍しているので、部活動やサークル活動をしていればいろいろな人、特に違う学部の人に出会えます。留学などのシステムも整っており、また留学生も多いので、自分から動けば国際交流などが学内でできます。

- ② 私が通っている化学生命工学部には、化学物質工学科と生命生物工学科があります。私が所属する化学物質工学科は、主に世の中にあるものの材料を研究する学科です。学科の中でも、マテリアル科学コース化学、応用化学コース、バイオ分子コースの3つに分かれています。

マテリアル科学コースは金属やセラミックスを、応用化学コースは有機化学や無機化学を、バイオ分子化学コースは医療関係や食品などを主に研究します。1年次は学科全員が同じ授業を受けますが、2年次からは各コースに配属されます。基本的に必修科目が多いため、大変な部分もありますが、その分専門的なことを1年次から学ぶことができます。

- ③ 大学は、本当に人が多いです。私は小学校からずっと神大附属に通っていたため、狭い世界しか知りませんでした。大学に入学してから一気に世界が広がりました。特にサークルに入会してからは、いろいろな学部の人と話す機会があり、とてもおもしろいです。私は吹奏楽サークルに所属しています。サークル、と聞くと遊んでいるだけじゃないか、と思う人も多いと思います(私が中学生だったときはそうでした)。しかし、きちんと予定を立てて活動している団体はたくさんあります。私が所属する団体もその一つです。

大学と中等との大きな違いは、全ての活動を学生が運営することです(部活動、特に体育会系の監督などがあるところはわかりませんが)。例えば、合宿の手配、練習する施設の予約、出演するイベントの打ち合わせなど、中等のときなら顧問の先生がしてくださっていたことを全て自分たちでします。自分たちが納得のいくように、自分たちで団体を運営するのは大変ですが、とてもやりがいのあることだと思います。私が所属する団体は、週に2回しか練習がありませんが、100人以上メンバーがいるにも関わらずみんなとても仲がよく、楽しいです。

大学は、自分から何か打ち込むことを見つけるとただ毎日が過ぎ去っていくだけで何も楽しくありません。私の場合は本当に素晴らしいサークルに出会ったので、サークルに打ち込んでいます。もちろん勉強もしながら。

大学は、もちろん学問をするための場所ですが、それ以外に学ぶこともたくさんあります。どこの大学に行こうとも、自分次第で自分がしたい、楽しい、打ち込みたい、と思えることがきっと見つかります。